

学校だより

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい子」

二小っ子根っこづくり運動

- 進んであいさつ、元気な返事
- はきものそろえ
- 勉強集中
- だまってそうじ
- 元気に外遊び



南京はぜ

「子どもたちの夢の実現に向けて」

「あいさつ日本一の学校」をめざして！～あいさつは未来を切り開く力～

子どもたちがむかえる未来（2030年）は、急速な社会変化が起き、予測困難な時代だと言われています。このような時代を生き抜く子どもたちは、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、一人一人が自らの可能性を最大限に發揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら作り出していくことが重要となります。



自ら「あいさつ」をしていくことは、まさに積極的に行動していく生活習慣につながります。

第二小学校では、これまで「あいさつ日本一の学校」をめざして、子どもたちへの指導を行ってきました。

今年度からは、取組をさらに一步進めて、子どもたち自らが職員室に出向いて「先生方、おはようございます」とあいさつをする取組を始めました。すでに1年生も6年生から手ほどきを受けて、毎朝職員室で元気に礼儀正しくあいさつをしています。このことが習慣となれば、それが子どもの生き方（品格）につながっていきます。

あいさつへの取組。日本一を目指します。

スクールカウンセラー(SC)とスクールソーシャルワーカー(SSW)の配置について



はしもと いくろう



さえやま あきのり

橋本 郁朗

副山 明則

今年度も第二小学校にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの配置がありました。お二人とも経験豊富な先生方です。

スクールカウンセラーは子どもたちを取り巻く様々な課題に対して児童や保護者等にカウンセリングを行うなど心のケアを行います。

また、スクールソーシャルワーカーは、学校、医療機関、地域や家庭、行政機関などと連携を図りながら課題解決に向かうお手伝いをします。

お子様のことでお困りの点がある方は、まずは相談されてみてはいかがでしょうか。

お二人とも、月1回ペースで第二小学校に来られますので相談を希望される方は、学校まで連絡いただければ、日程等調整をいたします。

【靈丘コソコソ噂話】

校長室の窓から見える二小の中庭。昭和の末期、ここでは孔雀が飼われていました。動物園でも珍しい孔雀が毎日見られる幸せがありました。鳴き声がちょっとうるさかったですが…。

令和の現在。中庭には、鯉の泳ぐ街に放流予定の鯉が飼われております。絶えず聞こえる静かな水音。鯉が跳ねる様子。孔雀もよいですが、鯉も風情があっていいものです。

コロナが終息し、鯉たちも新町の清流で自由に泳げるようになるといいですね。

